「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第17回　兵庫県代協

「お客さまの安心と満足」をお届けする代理店を目指して

兵庫県は、北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島へと続き、大都市から農山村、離島まで、さまざまな地域で構成されており「日本の縮図」といわれています。特に、歴史や風土、産業などの違いから、但馬、丹波、播磨、摂津（神戸・阪神）、淡路の個性豊かな5つの地域に分けることができます。

その中でも、気候温暖で暮らしやすいとされていた瀬戸内海側で大きな災害が発生致しました。

あれから26年、「阪神・淡路大震災」の1月17日は忘れられません。

当時、地震保険に加入していた被災者は多くありませんでした。

私たち代理店もお客さまに対してあまり熱心にお勧めしていなかった反省の上に立ち、地震保険の普及に取り組んで参りましたが、現在も地震保険付帯率は全国平均を下回っており、未だ不十分と言わざるを得ません。

昨年からコロナ禍の影響で十分な活動ができておらず、毎月1回開催（リアル+Web）される理事会では「代協として何ができるのか」を常に話し合っています。

このような時期であるからこそ、代理店、募集人の資質向上を目指す上でのツールとして「日本代協アカデミー」の活用が最適であるとの認識を持ち、セミナーを企画する中で、阪神ブロック（和歌山県代協・大阪代協・兵庫県代協）主催へと拡大し、9月には「日本代協アカデミーを知っていただくWebセミナー」を開催しました。

さらに12月には「代協活動の現状と課題」解説Webセミナー（ブロック）開催等、兵庫県代協は、会員代理店のみならず、未加入の代理店のみなさま、保険会社社員のみなさまへも情報提供をしております。

次に、兵庫県独自の活動である「社長の為のゼミナール」では経営理念、経営指針、経営計画の策定についての有料講座（6回／6か月）を継続して開催しています。

また3年前より保険会社社員のみなさまとの交流を図ることを目的に、損保6社（神戸支店）の社員の方々と代協理事・支部役員参加の意見交換懇談会を年に3回程度実施し、その際「会員紹介、コンサルティングコース受講者紹介等」の依頼をしておりますが、昨年3月以降は新型コロナの影響で残念ながら開催できておりません。

広く代協活動を知っていただき、なおかつ、代理店賠責『日本代協新プラン』についての理解を深めていただく観点から、先の意見交換懇談会の保険会社社員のみなさまを窓口に、保険会社社員さま向けの説明会を開催させていただき、一昨年は、延34回200名以上のご参加をいただき、大変好評でした。

このように、兵庫県代協は今後も毎年のように発生する地震、台風、豪雨等の自然災害やこの厳しいコロナ禍においても、お客さまに寄り添い「お客さまの安心と満足」をお届けする代理店を目指し、情報発信を続けて参ります。

（兵庫県代協　会長　塩谷広志）